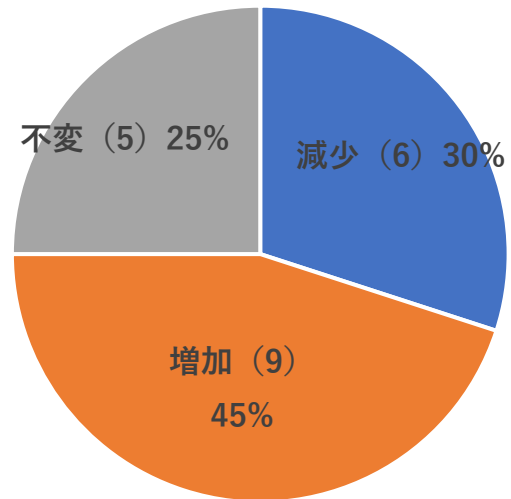


令和6年度景況調査

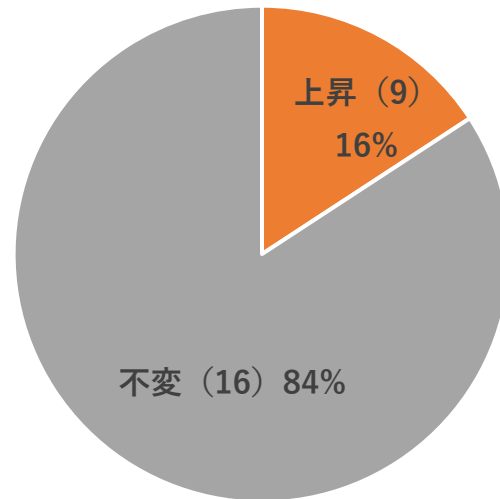
第一四半期(4月～6月)

①調査結果（その1）

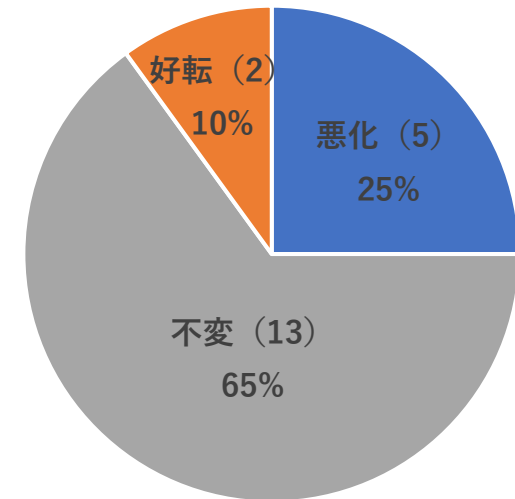
売上高の状況（前年同期比）



仕入高の状況（前年同期比）

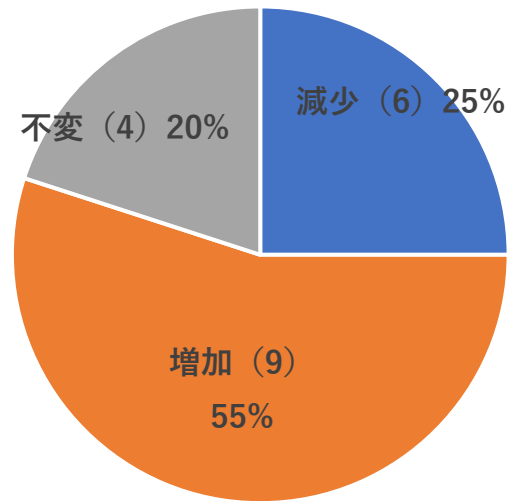


経常利益の状況（前年同期比）

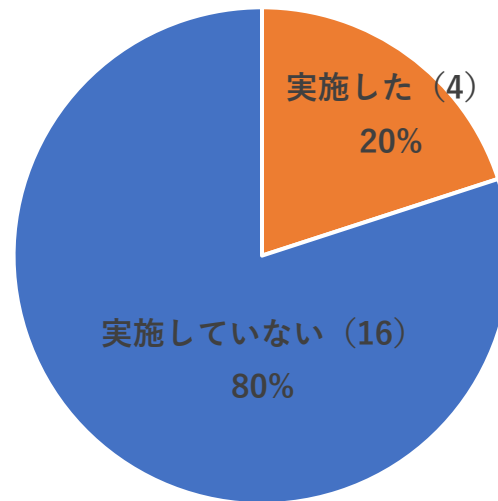


①調査結果（その2）

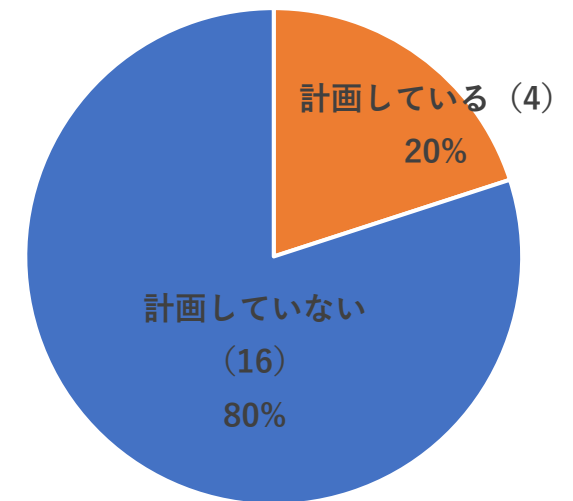
自社の業況（前年同期比）



設備投資の実施（今期）



設備投資の計画（来期）



②分析結果

- 売上高については、20社のうち5社が前年同時期と比較して増加しており、30%が「減少した」と回答しています。昨年度から経済活動は順調に回復しており、町内でも売上が回復している事業所が多く見られます。一方で、仕入価格の高騰や高止まりは続いており、調査対象事業所の9割近くが前年と比較して価格が上昇する結果となりました。このため、経常利益の伸びにはつながっておらず、「前年同時期と比較して不変」と回答する事業所が65%、「悪化した」と回答する事業所は25%となっています。
- 設備投資については、全体の20%の事業所が今年の1 - 3月期で実施したと回答しています。また、来期の設備投資の計画についても全体の20%に留まり、販路開拓や生産性向上等に向けた設備導入への意欲は低調に推移しています。商工会はこうした状況を踏まえながら、国や県、町の支援施策を有効に活用し、経営課題の解決に努めてまいります。